



レジで接客の体験をする今井正浩くん

**感じて学ぶ。
社会の厳しさと温かさ**

那須町にある東陽中学校の生徒のチャレンジを訪ねました。トマト栽培や酪農、介護、郷土芸能までの、チャレンジする体験はさまざま。今井正浩くんは、町内の道の駅での接客とそば打ちを体験しました。「最初はとても緊張しました。お店の人間は間違ったときも優しく教えてくれます。学校とは違うたくさんの人に出会えてとても楽しい」と話してくれました。

これまでの二年間、九つの中学校で試験的に実施。コミュニケーション能力が向上した、家庭での会話が増えた、学校と地域の距離が縮まった、など多くの成果が報告されました。この成果を広めるため、県では来年度までの二年間で、すべての中学校での実施を目指しています。

社会体験活動を すべての十四歳に

県では、中学二年生が地域の中で連続五日間さまざまな体験活動を行う「マイ・チャレンジ推進事業」をすすめています。社会の一員としてのルールを学び、豊かな心をはぐくむためには、地域社会の中での生きた体験が大切だと考えるからです。

トマト農家のチャレンジ。作業を通して心の交流が深まっています
「子どもは地域の宝です。これからも見守っていきたいですね」とトマト農家の森さん(東陽中の生徒と一緒に)

△問合せ
県教育委員会義務教育課
TEL 028-623-3392
「マイ・チャレンジ」の効果的な実施には、地域の皆さんとの理解と協力が何よりも必要です。心豊かでたくましい子どもたちを、地域の中で一緒に育んでいきましょう。



真岡市マイ・チャレンジ推進会議

**豊かな心の育成に
地域の力を**

県民だより

3 2002 月号

編集・発行 栃木県広報課
平成14年8月15日発行



T 320-8501 宇都宮市塙田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 (7月1日現在)

2,008,683人 (前月比 +506人、前年同月比 +1,720人)
○男997,403人 ○女1,011,280人 ○世帯数684,687世帯



**地域で育てよう
子どもたちの
生きる力**

豊かな心、社会性、自ら学び考え行動する力……。こうした「生きる力」の育成には、地域の人との心の交流や地域での豊かな体験が欠かせません。県では、社会体験活動を通して、子どもたちの「生きる力」をはぐくんでいきたいと考えています。

（7月1日現在）

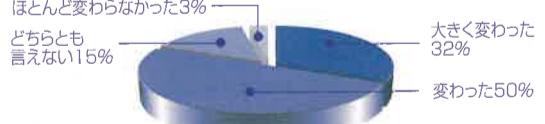


酪農を体験した那須町立東陽中学校の田代絵理香さん
「牛の乳がよく出るようになった喜んでもらえてうれしかった」
充実した5日間でした

「マイ・チャレンジ」の評価は…

(昨年度実施した9校のアンケート結果から)

受け入れ先 一週間で中学生に対する見方は変わりましたか。



保護者 お子さんと活動について話し合いましたか。



教師 学校と地域社会の関係において有益でしたか。





農場の仲間と一緒にナスを収穫
採れたての野菜や卵の販売に青空市へも出かけます
お客様との交流が働く元気につながります

石橋町に住む北山さんは、二十三歳の時に交通事故で身体に障害を受けました。七年前に自立訓練施設から戻り自宅での一人暮らしをはじめました。自宅で暮らす選択をしたのは「自由が欲しかったから」。スロープやリフトをつけるなど障害に合わせて暮らしやすいよう自分で家の設計をしました。「自宅での生活に一番必要なものは介護者と医療サービス」と話す北山さん。週四日ほど、家事をはじめお風呂の介助や外出などの支援を受けながら、月数回の訪問看護サービスを利用しています。

北山さんの趣味はパソコンにカラオケ、食べ歩きなど。活動から始まります。動的に毎日を過ごしています。またへ出かけて困ることは、障害者用の駐車場に車が止められないこと。「本当に必要な人のために健常者の人は使わないでほしい」と訴えます。だれもが暮らしやすいまち、人にやさしいまちづくりへの一步は私たち一人ひとりの行

知的障害のある方たちが、食事や身のまわりの支援を受けながら数人で共同生活するグループホーム。地域で自立した生活をおくる方法のひとつとして注目されています。市貝町にあるグループホーム「風の舍いえ」を訪ねてみました。

「風の舍」では無農薬農業を営む農場で四人の仲間が働きながら生活しています。「草むしりから道具の手入れまで、ど

う言葉をこ存じですか?
障害のある人もない人も、だれもが地域の一員としていきいきと暮らせる社会をめざして私たちの地域づくりをすすめようという考え方です。

今、障害のある方が地域で自立した生活が送れるよう、社会全体で支援していくことが求められています。

障害のある人もない人も お互いが補いあって

自分らしく自由に暮らしたい



▲近くのスーパーへ買い物にトレイやお風呂場へ移動できるリフト「介護する人にも楽で使いやすいこと」が大切



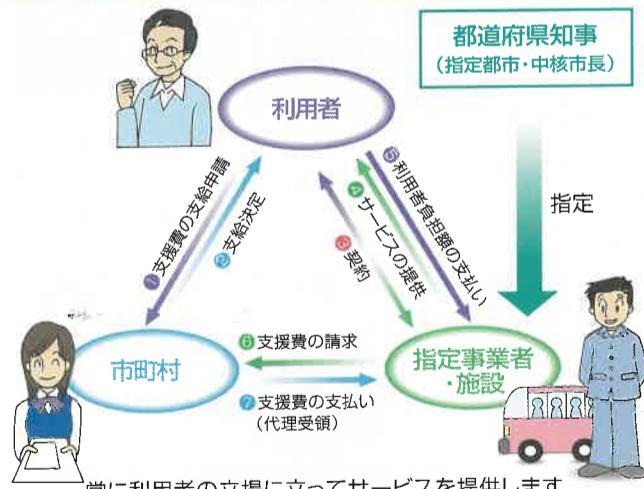
支援費制度がはじまります

平成15年4月から、障害のある方への福祉サービス制度は、新しい仕組み「支援費制度」に移行されます。「支援費制度」では、サービスの利用者がサービスの提供者を自由に選択し、契約によってサービスを利用することになります。

本年10月からは、申請手続きが開始されますので、サービスの利用を希望する方はお住まいの市町村障害福祉担当窓口へご相談ください。



◆支援費制度の枠組み



◆支援費制度の対象となるサービス

- 施設サービス
 - 身体障害のある方が治療や訓練などをを行う施設の利用
 - 知的障害のある方が自立と社会参加のための訓練などをを行う施設の利用
- 居宅サービス（自宅での生活支援）
 - ホームヘルプサービス（介護、家事等生活全般にわたる援助）
 - デイサービス（施設に通って受ける訓練等）
 - ショートステイ（短期間、施設に入所して受ける支援）
 - グループホーム（知的障害者が地域において共同生活をするときに受ける日常生活上の援助）

※「支援費制度」の対象とならない日常生活用具や手話通訳などのサービスは、引き続き現行制度により行われることになります。

◆まず、相談してみましょう

「支援費制度」で福祉サービスを利用するためには、市町村に支援費支給の申請を行い、支給決定を受ける必要があります。また、サービスを利用した時には利用者負担額を支払うことになります。

どのようなサービスがあり、どのように利用すればよいのか、また利用者負担額がどのくらいになるのかなど、制度に関する情報収集や相談をすることが大切です。

●支援費制度に関するお問い合わせは、

お住いの市町村障害福祉担当窓口または県障害福祉課 028-623-3491へ

ご相談は、お住いの市町村 障害福祉担当窓口へ

利用者の皆さんそれぞれの状況に応じた
ご相談をお受けします。
お気軽にご相談ください。

今、障害のある方のための福祉サービスの仕組みが大きく変わっています。
これまでの「措置制度」では、行政が権限によりサービスの内容や提供者を決定し、とすれば一方的にサービスを提供する仕組みとなっていました。これからは、利用者（障害のある方）自身が自らサービスを選択する制度へと変わります。

来年四月から実施される「支援費制度」では、障害のある方の自立と社会参加を支える社会づくりへ。その実現に向け、市町村はより、県民の皆さんや企業、関係団体の皆さんと協力しながら取り組んでいきたいと考えています。

◇問合せ 県障害福祉課
TEL 028-623-3491

みんなで支えよう 自立と社会参加

るよう、多様なニーズに応えられる質の高いサービスの確保に努めていきたいと考えています。

とちぎ政策マネジメント

現状評価結果

ミニ特集 とちぎ政策マネジメント



TEL 028-623-12206 ◇ 問合せ 県企画調整課
現状評価結果の詳細はこちらです!
●県ホームページ
<http://www.pref.tohigi.jp/>
●各県民センター
中央(県庁本館2階)
☎ 028-623-3766
県南(県下都賀庁舎内)
☎ 0282-24-5665
県北(県那須庁舎内)
☎ 0287-23-1555

県では、二十一世紀にふさわしい効率的で質の高い県政を実現するため、昨年度から「とちぎ政策マネジメント」を実施しています。このシステムは、県政の基本指針である「とちぎ21世紀プラン」に掲げた施策について毎年その成果を客観的に評価し、より効果的なものへと改善を図っていくものです。

平成十四年度の現状評価結果をお知らせします。
現状評価はプランの七十三の施策について実施しました。各施策ごとに設定されている県政目標(数値目標)の達成率や県政モニターなどの意識調査をもとに、「どの程度成果があがつたか」「県民の満足度は」といった視点で県が自己評価したものです。

評価の区分は「順調」「概ね順調」「課題あり」の三段階です。評価結果の概要は次のとおりです。

- ◆順調に進んでいる施策
- ◆生涯学習の推進
- ◆男女共同参画の促進
- ◆水辺の整備
- ◆概ね順調に進んでいる施策
- ◆特色ある公園や親しみある地域性豊かな農業生産の推進
- ◆子どもを健やかに生み育てる環境づくりの推進
- ◆改善すべき課題がある施策
- ◆「観光とちぎ」の誘客推進
- ◆地球温暖化防止対策の推進
- ◆など三十二施策
- ◆など三十七施策
- ◆など四施策

この現状評価の客観性や信頼性をより一層高めるため、今年度から学識経験者で構成される政策評価委員会を設置しました。七月二十六日に会議を開催し、県がおこなった現状評価が適切かどうかなどについてご意見をいただきました。

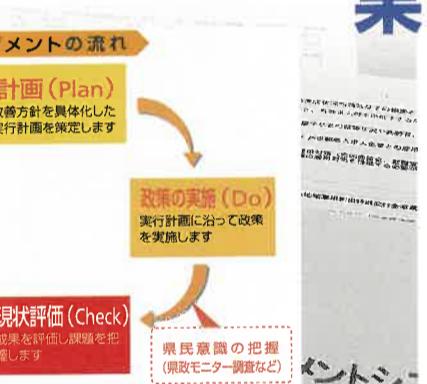
この現状評価の客観性や信頼性をより一層高めるため、今年度から学識経験者で構成される政策評価委員会を設置しました。

この現状評価の客観性や信頼性をより一層高めるため、今年度から学識経験者で構成される政策評価委員会を設置しました。

球温暖化防止対策の推進では、県内の温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算)は昨年度より減少する見込みですが、景気の動向によつてはまた増加する可能性も高く、県民や企業の皆さんとともにより一層の取り組みが求められているといえます。

新政たに設置

政策評価委員会を



七月十九日にオープンした井頭公園「二万人プール」と那須野が原公園「ファミリープール」は、今年も多くの人でにぎわっています。今年は、(財)栃木県民公園福祉協会設立三十周年を記念し、幼稚と六十五歳以上の方は無料でご利用になります。九月一日まで毎日オープン。ぜひお出かけください。

七月六日には、第一回目のフォーラムを大田原市で開催。応募された八十三名の皆さん方が知事と活発な意見交換を行いました。

フォーラムは今後、小山と宇都宮で予定されています。

川にすむ水生生物を採取して、一回目のフォーラムを大田原市で開催。応募された八十三名の皆さん方が知事と活発な意見交換を行いました。



ヤマユリ(ユリ科)

真夏の太陽のもと、ひぐらしの声とともに森の涼しさを伝えてくれる花です。香りも爽やかな日本特産種。周りを甘い雰囲気に包んでくれます。1株に咲く花は通常数個ですが、栽培品は細い茎では保てないほど多くの花をつけます。

ウォッチングポイント

杉林や竹林のそばに多く見られます。8月いっぱいが見頃です。



日光自然博物館の催し

- イキモノ観察シリーズ
秋の花に集まる虫を見よう
●9月7日(土)午前10時~午後3時
●参加費 大人500円、子ども250円
●定員 20名
●応募締切 8月24日(土)
●秋へのいざない~湖畔のタベ~
●中禅寺湖南岸でのナイトハイク
星空観察や音楽の調べを楽しみます
●9月21日(土)午後6時30分~9時
●参加費 大人500円、子ども250円
●定員 20名
●応募締切 9月7日(土)
●問合せ 日光自然博物館
日光市中宮祠2480-1
☎ 0288-55-0880

チャレンジ!炭焼き体験

- 原木の伐採 採集から炭出しまでを行います。ネイチャークラフトも
●9月7日(土)・21日(土)※両日参加
●参加費 無料
●定員 50名(先着順)
●募集期間 8月27日(火)まで
●問合せ 县民の森管理事務所
矢板市長井2927
☎ 0287-43-0479

とちぎ花センター 食虫植物&観葉植物展

- 高原や湿地帯の植物を展示します
●期間 9月8日(日)まで
●料金 420円、小・中学生210円
●問合せ とちぎ花センター
岩舟町下津原1612
☎ 0282-55-5775

楽しもう!秋の味覚と太平山

- ハイキング、ぶどう狩りなどを行います
●9月8日(日)午前9時~午後3時
●対象 小中学生とその保護者
●参加費 500円
●定員 100名(先着順)
●応募締切 8月24日(土)
●問合せ 県立太平少年自然の家
栃木市平井町638
☎ 0282-24-8551

県営都市公園 緑の相談所の催し

- 期間 8月22日(木)~9月1日(日)
●井頭公園 ☎ 0285-82-4476
草木染展
●おかもと山公園 ☎ 0282-55-7733
パンフラワーアート
●日光だいや川公園 ☎ 0288-23-0208
千代の木壽日本の杉写真展



子ども総合科学館
宇都宮市西川田町567
☎ 028-659-5555



- 第41回企画展
「からくり人形大集合!」●9月1日(日)まで
●不思議なからくりの世界をお楽しみください

- あそぼう工房夏休み企画「大工さんになりたい!!」●9月1日(日)まで
●大工さんの道具を使って「つくる・あそぶ」プログラムであそぼう

- 星を見る会●8月24日(土)午後7時~
●わし座をさがそう●9月14日(土)午後7時~
●はくちょう座をさがそう

- 大型望遠鏡で宇宙の神秘にふれてみませんか



県立美術館
宇都宮市桜4-2-7
☎ 028-621-3566

- 小山穂太郎展●9月16日(月)まで
●小山穂太郎(1955~)が一貫して追及する映像の世界を大作写真や最新の16ミリフィルム・プロジェクトなど約40点で紹介します

- 関連企画①WrKパフォーマンス●9月1日(日)午後3時~②ビデオ・スタディー・ライブラリー●8月24日(土)・9月14日(土)いずれも午後2時~●入場無料



[無題] 1987年



県立博物館
宇都宮市睦町2-2
☎ 028-634-1312

- 開館20周年記念企画展「那須の自然」●9月29日(日)まで
●那須地域の多彩な地形地質や動植物を紹介します

- テーマ展「交代寄合那須家考」・巡回展「栃木の遺跡—最近の発掘調査の成果から—」●いずれも9月1日(日)まで

- テーマ展「栃木の山のくらし」●10月6日(日)まで

- テーマ展「谷文晁・高久露庭とその弟子たち」●9月7日(土)~10月6日(日)



県総合文化センター
宇都宮市本町1-8
☎ 028-643-1010

- 風間杜夫ひとり芝居『カラオケマン』●9月4日(水)午後7時開演●チケット好評発売中

- リッカルド・ムーティ&スカラ・フィルハーモニー管弦楽団●9月11日(水)午後7時開演●指揮/リッカルド・ムーティ●プログラム/ロッシーニ『ラヌスへの旅』序曲、ハイドン:交響曲第104番ニ長調「ロンドン」、ベートーヴェン:交響曲第3番変ホ長調「英雄」op.55●チケット好評発売中



催し

●農業試験場公開デー

- 8月24日(土)午前9時~午後4時●研究成果の展示と試験の紹介、地域特産物の即売、家庭菜園の相談ほか●同場(宇都宮市瓦谷町)☎ 028-665-1264

●第8回鬼怒川上流流域下水道フェスティバル

- 8月24日(土)午前10時~正午●場所 鬼怒川上流浄化センター(今市市町谷)●内容 施設公開、ますのつかみ取りほか●同センター☎ 0288-21-7311

●とちぎ健康づくりセンター企画展「紫外線と健康」

- 9月23日(月)まで●開館時間 午前10時~午後5時●休館日 月曜日、第4木曜日●同センター(とちぎ健康の森内)☎ 028-623-5858

募集中

●知事と語ろう、ゆめ・みらい!

「とちぎトーク21」参加者募集



昨年のもよう

- 若い世代の県民と知事がとちぎの今と未来について語り合う集会を開催します。皆さんのご応募お待ちしています●9月28日(土)午後1時30分~3時30分●会場 とちぎ青少年センター(宇都宮市)●対象 県内に在住、通勤・通学している満18歳以上40歳未満の方●定員 40名●応募方法 住所、氏名、性別、年齢、電話番号、職業を記入し、ハガキ、ファックス、Eメールで(電話も可)●託児あり(要予約)●応募締切 9月11日(水)消印有効●県庁報謹(〒320-8501)※住所記入不要☎ 028-623-2158、FAX 028-623-2160、e[kocho@pref.tohigi.jp]

●高度な技能者を養成!

県産業技術学校の入校生募集

- 試験日 推薦/10月11日(金)、一般/11月22日(金)●募集期間 推薦/9月17日(火)~26日(木)、一般/10月29日(火)~11月7日(木)●定員 各科20名●問合せは各校へ●県央校(宇都宮市)☎ 028-689-6374

- 機械技術科、制御システム科、自動車工学科、建築



「とちぎ情報局」スタジオ収録風景

設計科、設備システム科

【県北校(那須町)】☎ 0287-64-4000

- 生産エンジニア科、通信エンジニア科、サービス工キスパート科

【県南校(足利市)】☎ 0284-91-0803

- 機械システム科、電気システム科

●Tマーク商品(栃木県優良デザイン商品)の募集

- 県内に事業所のある法人(資本金5億円以下)または個人が生産する一般消費者向けの商品で、優れたデザインのものを募集します●応募方法 8月31日(土)までに所定の用紙で●県工業課☎ 028-623-3199

●「チャレンジキャンプ」参加者募集

- 友達がほしい。学校に行きたいけど行けない。そんな悩みを持つ小・中学生の参加をお待ちしています。親子で参加してください●9月21日(土)~22日(日)1泊2日●野外炊飯、沢遊び、マスクカミ、保護者間の相談会●参加費 大人3,500円、中学生3,000円、小学生2,800円●定員 約30名●応募方法 住所、参加者の氏名、年齢(学年)、学校名、性別、電話番号を記入しハガキ、ファックスで●応募締切 9月6日(金)●県立高原山少年自然の家(矢板市長井2597-1)☎ 0287-44-1581、FAX 0287-43-7808

●「出会い、ふれ合いの集い」参加者募集

- 障害者の方が広く交際の機会を得られるよう、交流会を開催します●10月26日(土)~27日(日)1泊2日●会場 栃木県障害者保養センター那珂川苑(馬頭町)●対象 県内に在住の方で結婚を希望する方(健常者・障害者は問いません)●参加費 6,000円●定員 先着30名程度●申込み 8月31日(土)までに電話で(先着順)●県立県身体障害者総合相談所☎ 028-623-6353(土・日・水曜日の午前10時~午後3時)

●「とちぎグリーンフェスタ」県民花飾り参加者募集

- とちぎグリーンフェスタで展示する県民花飾り(コンテナガーデン)を作ってください●搬入・飾付け日 10月12日(土)または10月13日(日)●会場 とちぎわんぱく公園(壬生町)●定員 初心者コース100組、親子コース100組、アイデアコース30組●応募方法 8月31日(土)までに所定の用紙で●(財)県立県民公園福祉協会☎ 028-659-5868



●「山火事予防ポスター原画および標語」募集

- 山火事の恐ろしさとその予防、森林の大切さを呼びかける作品(ポスター原画はB3判タテ使用)●応募資格 ポスター原画は中学生及び高校生、標語は中学生以上の方●応募締切 9月18日(水)●県造林課☎ 028-623-3299

クローズアップとちぎ

- 毎週土曜日
9:00 ~ 9:30

- (再)月曜日
22:00 ~ 22:30

- 8月17日 住宅資金貸付制度

- 24日 企業局の役割

- 31日 子育て環境づくり

- 9月 7日 9月9日は、救急の日

- 14日 幼児教育センターの役割

とちぎ情報局

- 毎週日曜日
9:00 ~ 9:45

- (再)木曜日
22:00 ~ 22:45

- 8月18日 「メダカの学校」の自然観察会

- 25日 幻の天才作曲家が残したもの

- ~須賀義太郎~

- 9月 1日 遊具地体験

- ~もうひとつの日光~

- 8日 アートな出会いを
~ふれあいアトリエ通り~

とちぎかわら版

- 県の行事、募集案内など、県からのお知らせを紹介する5分間の番組です